

# 市奨学金募集



問い合わせ  
総務学事課 ☎592184

## ■申込期間

3月10日(木)～5月2日(月)  
8時30分～17時15分  
※土・日曜日、祝日を除く。

## ■対象

次の全てに該当する方  
①扶養者(保護者)が市内在住  
②学校教育法に規定する高等学校、高等専門学校、大学(短期大学・大学院を含み、通信教育を除く)、専修学校(修業年限2年以上の専

門課程)に在学または入学予定  
③学業成績が優良で、日頃の行いが良い(出身校の評定平均値5点満点のうち3.6以上)  
④修学に支障がない  
⑤経済的理由のため修学が困難と認められる  
※③～⑤には基準があります。

## ■貸付額

【高等学校】  
国公立 月額1万1千円以内  
私立 月額2万2千円以内

【高等専門学校】  
国公立 月額1万8千円以内  
私立 月額2万8千円以内  
【大学(短大・大学院を含む)・専修学校】  
国公立 月額2万8千円以内  
私立 月額4万円以内

## ■返還方法

卒業後6カ月間据え置き、その翌月から10年以内に、月賦、半年賦、年賦により返還。  
※市内への居住を条件に返還免除制度があります。

## ■申し込み

次の書類を総務学事課へ提出。(代理申請可・郵送不可)  
①奨学金貸付申請書  
②申請理由書



- ③奨学生推薦調書(出身学校長が記入)
- ④合格通知書もしくは入学許可書の写し、または在学証明書
- ⑤生計を一にする世帯員全員の住民票謄本(続柄の記載があり、発行日が申請日前3カ月以内のもの)
- ⑥生計を一にする世帯員全員の前年中の所得を証明する書類
- ⑦生計を一にする世帯員全員の市税などの「滞納がない証明書」(発行日が申込期間内のもの)
- ※6歳未満および就学者で収入がない方を除く。
- ※①～③の用紙は総務学事課にあります。市ホームページにも掲載しています。

## ■採用の可否など

結果は6月上旬に文書で通知します。  
なお、奨学生に決定された場合は、返済能力のある連帯保証人2人(1人は必ず扶養者、もう1人は奨学生、扶養者のいずれとも生計を別にしていない方)が必要です。

## 市内に居住している方の

# 市奨学金の返還を免除します

問い合わせ 総務学事課 ☎592184

## ■対象

次の全てに該当する方  
①奨学金の返還金と市税などに滞納がない  
②奨学金の返還開始年度が令和2年度以前の方で、令和2年4月1日以前から市内に継続して居住(実際に生活)している

## ■返還免除期間

4月～令和5年3月分(期間中に転出した場合は転出した当月分まで)

## ■申請期間

4月1日(金)～5月2日(月)  
8時30分～17時15分  
※土・日曜日、祝日を除く。

## ■申請方法

総務学事課に備え付け、または市ホームページの「奨学金返還免除願」に必要書類を添えて総務学事課へ。  
※必ず申請者本人が直接提出してください。(代理申請・郵送不可)  
※「奨学金返還免除願」には連帯保証人の記名・押印が必要です。

## ■必要書類

- ①奨学金返還免除願
  - ②本人の住民票(発行日が令和4年4月1日以降のもの)
  - ③本人の「令和3年分確定申告書」または「令和4年度市県民税申告書」の写し
- ※申告していない方は「令和3年分

給与所得の源泉徴収票」の写し(複数箇所働いている方は全ての源泉徴収票)

※「課税台帳記載事項証明」では受け付けできません。  
④生計を一にする世帯員全員の市税などの「滞納がない証明書」(発行日が令和4年4月1日以降のもの)

※6歳未満および就学者で収入がない方を除く。

⑤本人確認書類(申請時に原本を提示)。顔写真付きの場合1点、無しの場合2点

## ■免除の決定

6月上旬に決定し、文書で通知します。

## 新1年生に防犯ブザーを寄贈

問い合わせ 総務学事課 ☎59-2184



2月9日に、防犯連合会から市内の小学新1年生に防犯ブザー200個の寄贈がありました。

防犯ブザーの寄贈は、児童の犯罪被害防止を目的に、平成14年から行われています。ありがとうございました。

## 地域の魅力発信に高校生のチカラを



1月21日、大竹高校と大竹商工会議所、大竹観光協会の三者が、連携して地域経済の活性化と観光振興に取り組むため、協定を締結しました。

協定は、高校生と協力し、三倉岳や工場夜景などの観光資源の魅力発信や、地元の農水産物などの活用、今後整備される大竹駅西口広場の活用や商店街のにぎわい創出などを図っていこうというものです。

谷岡茂商工会議所副会頭・観光協会会長は「若い世代の知恵を借りて一緒にやっていきたい」と期待を寄せています。

増田隆校長は「高校生が得意とするSNSなどを使って情報発信に力を入れたい。地元根ざした高校として活動していく」と抱負を述べました。